

家庭はすべての教育の出発点 —保護者の皆様へ—

家庭学習で「学びに向かう力、自ら学ぶ力」を

これからの社会は、グローバル化、情報化、AI(人工知能)化が今以上に急速に進展する変化の激しい時代と言われています。このような社会を生き抜かなければならない子どもたちは、様々な困難や課題に直面することでしょう。だからこそ、それまで身につけた知識や技能を活用し、試行錯誤しながら、よりよい生き方を見いだすことが求められています。その基本となるのが好奇心旺盛に「学びに向かう力」、探求する心をもって「自ら学ぶ力」です。これは学校や家庭で少しずつ育まれていくものです。子どもの学習能力は、年齢によっても個人によっても異なります。それぞれの子どもの発達の段階に合わせて、子どもの学ぶ力を育てていきましょう。そこで、家庭学習の新しいパートナーになるよう『家庭学習ハンドブック』を改訂しました。参考としてご活用いただき、次のような視点でご家庭での支援や協力をお願いいたします。

◇規則正しい生活をする ～規則正しい生活が学力につながる～

子どもが毎日家庭学習を続けるためには、何よりもまず家庭での生活リズムが整っていることが大切です。『早寝早起き朝ご飯』は、規則正しい生活の基本です。

◇学ぶ環境をつくる ～落ち着いた環境で集中力が高まる～

決まった時間に落ち着いた場所で勉強する子どもの方が、学力が高い傾向にあります。子どもが勉強する場所に学習にふさわしくないものがあれば片付ける、勉強している時間はテレビを消す、音量を下げるなど、子どもが勉強に集中できる環境をつくりましょう。

◇認め、励ます ～子どものやる気を認めて伸ばす～

親の考え方を押しつけるだけでは、自分で考えて行動する力が身につけません。子どもは、自分が頑張ったことを「認めてほしい」と思うものです。まずは子どもの変容を見逃さず、見守ることを大切にしましょう。そして、子どもの頑張りを認め、具体的な言葉で励ましましょう。

◇生活の中で学ぶ機会を与える ～活用できてこそ真の学力が生まれる～

子どもの知的好奇心を高め、豊かに生き抜くための知恵を育むためには、学校で学んだ知識を普段の暮らしの中で活用したり、自然や文化などに触れたりすることが大切です。また、お手伝いなど、家族の一員として自分ができることをやり遂げる態度を育むことも必要です。

「家庭はすべての教育の出発点」です。ご家庭の皆様にも以上の趣旨をご理解いただき、家庭学習がさらに充実し、子どもの「学びに向かう力、自ら学ぶ力」が育まれますようご協力をお願いいたします。

加西市教育委員会

- 保護者の皆様へ 01
- もくじ・ハンドブックの見方 02
- 小学校1・2年生 03
- 小学校3・4年生 05
- 小学校5・6年生 07
- 中学校1・2年生 09
- 中学校3年生 11
- インターネットをかしこく使おう
学習サイトをかしこく使おう 13
- よりよい生活習慣は高い学力にむすびつく 14
- 親子でつくろう！
加西っ子の学習習慣“か・き・く・け・こ” 15
- 親子でつくろう！
加西っ子の生活習慣“あ・い・う・え・お” 16
- 家庭生活・学習チェック表 17

ハンドブックの見方

子どもたちの「育ち」と「学習」の仕方やさせ方を示しています。

学校で学習する内容や特徴を示しています。

家庭学習を始める前に必ずしておきたいことをまとめています。

子どもが自分から家庭学習に取り組む、確かな学力を身につけるためのポイントをまとめています。

家庭学習の仕方のポイントです。

家庭学習のめあてを示しています。

教科ごとに家庭学習の仕方をまとめています。

家庭学習が終わったら、することをまとめています。





「育ち」や「学び」の特徴

- 自分で学習の内容や方法を定めることはまだ難しい時期です。家庭での手助けも必要です。
- いろいろなことに興味・関心をもち、何でも知りたがる学年です。
- 「よく頑張ったね!」「やったね!」など、家族のほめ言葉が次への意欲を生み出します。
- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「歯磨き習慣」などの基本的な生活習慣が定着すると、学習習慣も身につきます。
- 担任の先生はもちろん、学童保育の先生とも十分な連携が必要です。困ったことや必要なことは相談しましょう。



家庭学習のポイント



1

基本的な生活習慣を大切に!

合言葉は「あ・い・う・え・お」

- ㊦ あかいい あいさつ
- ㊧ いっしょに 食事
- ㊨ うーんと 睡眠
- ㊩ えがおで お手伝い
- ㊪ おやこで 読書

基本的な生活習慣を身につけることが
これからの学習の
土台になります。

2

家庭での学習習慣づくりを!

- ☆決まった時間に机に向かう習慣を身につけさせましょう。
- ☆家庭学習の習慣を定着させる時期です。毎日きちんと宿題に取り組ませましょう。
- ☆子どもが学習している間は、できるだけ近くで見守ってあげましょう。
- ☆テレビやゲームなどの時間は家庭で決めましょう。
- ☆物を数えたり、時刻を尋ねたり、子どもの生活を学習につなげましょう。

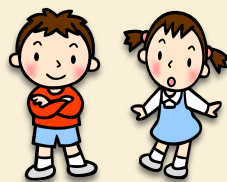
3

学びにつながるコミュニケーションを!

- ☆その日の学校での様子や出来事を、聞いてあげましょう。
- ☆子どもの目を見て話を聞くことも必要です。
- ☆ほめ言葉が学習意欲につながります。愛情あるコミュニケーションを心がけましょう。

がっこう かくしゅう
学校での学習

- 「読み・書き・計算」などの勉強がスタートします。
- どの教科も45分の授業時間です。
- 先生や友だちの話をしっかり聞いて学習します。
- 繰り返し学習することで、力がつく学習内容がたくさんあります。
- ふだんの生活に関係した勉強も多く、身近なものを使ったり、実際に体験したりする学習もします。
- 「連絡帳を正確に書く」「えんぴつを正しく持つ」なども、大切な学習です。



かていがくしゅう はじ まえ
家庭学習を始める前に

- 連絡帳やプリントなどを家の人とたしかめましょう。
- テレビやゲームのスイッチを切りましょう。
- 毎日、きめた時刻にきまった場所で勉強しましょう。
- 学習する前には、勉強する場所の整理整頓をしましょう。

かていがくしゅう
家庭学習では

- まず宿題から学習しましょう。
- よいしせいで、字はていねいに書きましょう。
- 終わったら家の人とたしかめましょう。

かていがくしゅう ほうほう
家庭学習の方法

かていがくしゅう ぶん ぶん
家庭学習のめやす 20分～30分 めあて()分

国語

- ・正しいしせいで、ていねいに字を書きましょう。
- ・「、」や「。」に気をつけて、すらすら読めるようにしましょう。
- ・書き順や文字の形に気をつけて書き写しましょう。
- ・楽しかったことやがんばったことなどを、文で書けるようにしましょう。



算数

- ・たし算やひき算が正しくできるように、何度もれんしゅうしましょう。
- ・2年生は、かけ算の九九がすらすら言えるように、何度もれんしゅうしましょう。
- ・ノートに計算などを書くときは、見やすいようにていねいに書きましょう。
- ・まちがえたもんだいは、もう一度やり直しましょう。

生活その他

- ・虫や草花のせわをしたり、よくかんさつしたりしましょう。
- ・生活科で勉強したことを自分の生活でもつかっていきましょう。
- ・けんぱんハーモニカのれんしゅうをしましょう。
- ・なわとびなど、うんどうにチャレンジしましょう。
- ・道徳の教科書やしりょうを読みましょう。
- ・すきな本をたくさん読みましょう。



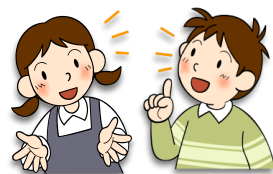
かていがくしゅう お
家庭学習が終わったら

- 学習用具をかたづけましょう。
- 明日のもちものを用意し、時間割を合わせましょう。

しょうがっこう ちゅうがっこう だいじ かくしゅうしゅうかん
小学校・中学校での大事な学習習慣です。
ていがくねん
低学年のうちにしっかり身につけましょう。



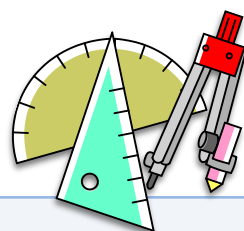
「育ち」や「学び」の特徴



- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けも必要です。
- みんなと行動することを好むとともに、好奇心も旺盛で、行動範囲も広がります。
- 自己主張や口答え、反抗が少しずつ見られるようになります。
- まずは子どもの話をしっかり聞き、物事の善し悪しをきちんと教えることが大切です。
- 温かい言葉がけや励ましにより、やる気を起こさせ、学習に対する興味・関心も高めていきましょう。



家庭学習のポイント



1

自分でできることは自分で！

- ☆自立心が芽生える時期なので、自ら学習する習慣を温かくサポートしていきましょう。
- ☆自主的な学習に積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていきましょう。
- ☆家族の一員として家事を分担し、進んで行うことも立派な学習です。

2

規則正しい生活の継続を！

- ☆時間を意識させ、けじめをつけさせることは、学習への集中力を高めることにつながります。根負けせずに、アドバイスを続けていきましょう。
- ☆テレビやゲーム、インターネットなどの時間は家族で決めましょう。自ら机に向かう環境づくりが大切です。
- ☆宿題をやり終えているか、学校の配布物が残っていないかなど、まだまだ手助けが必要です。徐々に自分でできるように習慣づけましょう。

3

意欲を引き出す言葉がけを！

- ☆好奇心は、自主的な学習への入り口です。機会を逃がさず、子どもの興味・関心を伸ばしましょう。
- ☆つまずきや苦手なことについては、子どもに任せきりにするのではなく、家族のアドバイスでやる気を引き出しましょう。
- ☆学習範囲が広がることで、学習の個人差も出てくる頃です。ほかの子どもの成長と比べることは避けて、「がんばり」を認めてほめましょう。

学校での学習

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まります。
- 「わたしたちのまち加西」や地図帳、事典などを使う学習が増えます。
- 自分で調べたり確かめたりする学習が多くなります。
- ローマ字や新しい漢字をたくさん習います。
- 算数では、分数・小数やグラフなどの学習も加わります。
- 四則計算(＋・－・×・÷)の基礎・基本を徹底して学びます。



家庭学習を始める前に

- 連絡帳やプリントなどを家の人に見せましょう。
- テレビやゲームのスイッチを切りましょう。
- 決めた時刻に机に向かいましょう。
- 学習する前には、勉強する場所の整理整頓をしましょう。

家庭学習では

- 今日の宿題をたしかめましょう。
- まず宿題から学習しましょう。
- 漢字や計算は、毎日ていねいにしましょう。
- 資料集や地図帳、辞典などを使った調べ学習にも挑戦しましょう。

家庭学習の方法

家庭学習のめやす 30分～60分

めあて()分

国語

- ・今勉強しているところを、何回も声に出して読みましょう。
- ・正しい書き順で、正確に文字が書けるようにしましょう。
- ・習った漢字を使い、つなぎ言葉や段落を工夫して文章を書きましょう。
- ・国語辞典を使って意味の分からない言葉を調べましょう。

社会

- ・身の周りのくらしに興味をもち、気づいたことを整理しましょう。
- ・加西市のことや兵庫県のことを調べましょう。

算数

- ・計算練習は、位をそろえてていねいにする習慣をつけましょう。
- ・教科書やドリルの問題をくり返しときましょう。
- ・まちがえた問題は必ずやり直し、よく似た問題をときましょう。
- ・分度器やコンパスなどが使えるように、何度も練習しましょう。



理科

- ・学習したことを教科書などで思い出しながらノートにまとめてみましょう。
- ・身近な自然や生き物とふれあい観察してみましょう。

その他

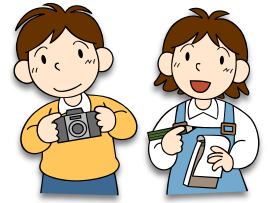
- ・勉強に関することを図鑑や事典などで調べましょう。
- ・リコーダーの練習をしましょう。
- ・なわとびや一輪車など、運動にチャレンジしましょう。
- ・家庭でも、英語に関する言葉や音楽に親しみましょう。
- ・道徳の教科書や資料を読みましょう。
- ・いろいろなジャンルの本を読みましょう。

家庭学習が終わったら

- 学習用具をかたづけましょう。
- 明日の持ち物を用意し、時間割を合わせましょう。



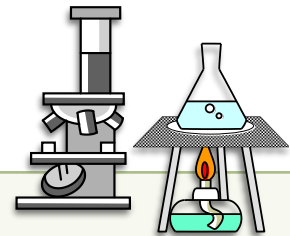
「育ち」や「学び」の特徴



- 自立心が大きく育ち、自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。
- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。
- 考える力も飛躍的に身につく、時として大人への反抗も見られます。
- この時期から学力の差がつきやすく、得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 家族や先生のアドバイスにより、学習意欲や興味・関心が大きく左右されます。
- 小学校の学習のまとめをして、中学校へつなげる大切な学年です。
- 思春期を迎え、子どもの心と体について、気になることがあれば、担任の先生と話し合みましょう。



家庭学習のポイント



1

予定を立てて、計画的な学習を！

- ☆下校時刻も遅くなり、家に帰ってからの習い事も増え、家庭学習の時間確保が必要です。
- ☆自分で学習計画を立て、見通しをもった学習をしましょう。
- ☆学習のリズムを継続することで、学習習慣につなげましょう。

2

基本的な生活習慣の見直しを！

- ☆生活リズムの乱れは、学習習慣が崩れるもとになります。計画的な学習ができているか再確認しましょう。
- ☆「早寝早起き」「朝食をとる」「ゲームやインターネットの時間を決める」など、中学校生活に向け、今一度生活習慣の見直しをしましょう。
- ☆家庭生活や学習状況を、冊子の最後のチェック表で点検し、自分で振り返りましょう。

3

目標をもち、こつこつ努力することを大切に！

- ☆学校での様子や失敗談などを話題にしながら、勉強する目的や将来の夢や希望、目標に向かって日々努力することの大切さを伝えましょう。
- ☆成功体験の積み重ねが、新しい挑戦への原動力となります。高学年になっても、さらに「ほめる」「みとめる」「はげます」機会を増やし、子どもの自尊感情を高めましょう。

学校での学習

- 「外国語」の学習が始まり、英語の基礎・基本を学びます。
- 「家庭科」の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 学習内容が多くなり、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 筋道を立てて考える論理的内容の学習や、抽象的な内容の学習が増えてきます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習(問題解決的な学習)が多くなります。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を身につけます。



家庭学習を始める前に

- 学校からのプリント類を家の人に見せましょう。
- 学習のさまたげになるものはかたづけましょう。
- 決めた時刻に机に向かいましょう。
- 学習前に、勉強する場所の整理整頓をしましょう。

家庭学習では

- まず宿題から学習しましょう。
- 「読む」「書く」「計算」の基礎学力を確実にするため、くり返し練習しましょう。
- 学習している内容に関連することは、進んで調べましょう。
- 自分で課題を見つけ、めあてをもって学習しましょう。

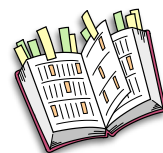
家庭学習の方法

家庭学習のめやす 60分～90分

めあて()分

国語

- ・詩や俳句、和歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
- ・いろいろなジャンルの本や新聞の記事などを読みましょう。
- ・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、調べる習慣をつけましょう。
- ・学習課題にそって自分の考えをまとめましょう。



社会

- ・教科書、資料集などを活用して、予習したり復習したりしましょう。
- ・新聞やニュースから社会の動きに興味をもち、自分の考えをまとめましょう。

算数

- ・新しく学習する内容を予習して、学習の見通しをもちましょう。
- ・まちがえた問題は、プリントやドリルを使って、くり返し練習しましょう。
- ・図や線分図を活用して問題を解き、その考え方を説明できるようにしましょう。

理科

- ・学習したことがらを絵や図、表を活用しながらノートにまとめましょう。
- ・家庭でも進んで観察・実験をしましょう。

外国語

- ・コミュニケーションに必要な英単語を覚えましょう。
- ・「聞くこと」「話すこと」などコミュニケーションができるようくり返し練習しましょう。
- ・くらしの中の英語に親しむ習慣を身につけましょう。

その他

- ・図鑑やインターネットで興味・関心のあることについて調べましょう。
- ・家庭科で学習したことを家庭生活の中で実践しましょう。
- ・興味のある音楽や楽器に親しむ機会を作りましょう。
- ・さまざまなスポーツにチャレンジしましょう。
- ・道徳の教科書や資料を読み、自分の考えをもちましょう。
- ・いろいろな本を読んで、考えを広めたり深めたりしましょう。



家庭学習が終わったら

- 学習用具をかたづけましょう。
- 明日の持ち物を用意し、時間割を合わせましょう。

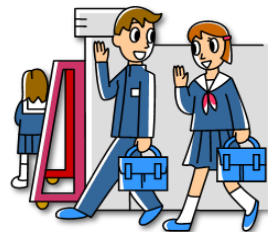
中学校1・2年生

リズムをつかみ、計画的な学習を進める



「育ち」や「学び」の特徴

- 新たな中学校生活に希望をもち、学習にも意欲的に取り組もうとします。
- 少しずつ自我が目覚める一方で、心と体の成長がアンバランスになり、不安や悩みを抱えやすくなります。時には、大人に反抗的になったりする時期です。
- 家族に頼りたい気持ちと、家族から自立したい気持ちが混在します。
- 仲間や友だちの影響を受けやすく、他人から見た自分を意識するあまり、落ち込んだり、無理に合わせようとしたりします。
- 不安や悩みと向き合いながら、心の成長や深まりが見える時期だからこそ、温かな見守りが必要です。子どもの自尊感情を大切にするとともに、励まし認め自信をもたせるように心がけましょう。



家庭学習のポイント



1

予習・復習の習慣の確立を！

- ☆あらかじめ自分で調べたり考えたりして、課題をもって授業に臨みましょう。
- ☆その日のうちに教科書・ノート・プリント・ワークなどを使って学習のポイントを整理するようにしましょう。
- ☆予習・復習を計画的に進めるなど、自分自身で家庭学習の方法を工夫することが、自ら学ぼうとする力を育てます。

2

生活にリズムを！

- ☆部活動もあり、中学生の生活リズムに慣れることが大切です。
- ☆「早寝早起き」「朝食をとる」を心がけ、規則正しい生活習慣を身につけましょう。
- ☆インターネットやゲームの時間、スマホなどの使い方のルール等を決め、家庭学習の時間を確保し、継続的な学びを進めましょう。

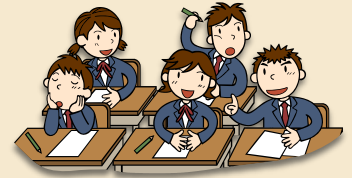
3

着実な取組を大切に！

- ☆分からないことをそのままにせず、分かるところまで戻ってやり直しましょう。
- ☆間違ったところは、必ずもう一度見直しましょう。
- ☆どうしても分からないところは、先生や友だちに尋ねましょう。

学校での学習

- 教科ごとに先生が替わる教科担任制で、50分授業になります。
- 小学校と比べ、さらに論理的、抽象的な学習内容になり、量も増えます。
- 各教科の基礎・基本を確実に身につけ、思考力や表現力を伸ばすことが重要です。
- 学習と部活動の両立が大切です。



家庭学習の方法と工夫

家庭学習のめやす 90分～120分

めあて()分

国語

- ・教科書をはっきりと声に出して読みましょう。古典は、現代仮名遣いに直し、繰り返し本文を音読しましょう。
- ・漢字や語句は書いて覚え、分からない言葉は辞書を引き、意味を調べましょう。
- ・学習プリントやワーク、資料集で整理し、学習内容を確認しましょう。
- ・学習課題にそって、自分の考えをまとめましょう。

社会

- ・教科書や資料集で、重要な語句をチェックしたり、ノートにまとめたりしましょう。
- ・学習プリントやノートを見直すとともに、問題集にも取り組みましょう。
- ・新聞やテレビから社会の動きに興味をもち、学習したことと関連づけて考えましょう。

数学

- ・教科書の例題で解き方や考え方の基本を理解し、練習問題をしましょう。
- ・授業で使ったプリントやノートで公式や定理を整理し、繰り返し練習しましょう。
- ・ワークや問題集に取り組み、間違えた問題はできるまで練習しましょう。

理科

- ・教科書や実験・観察シート、ノートを見直し、要点を整理しましょう。
- ・実験の目的・方法・結果・考察を関連づけて「実験のまとめ」をしましょう。
- ・図やグラフの見方、科学的な考えなどに気をつけて、ワークなどの問題を解きましょう。
- ・自然や科学に興味をもち、学習したことを関連づけて調べましょう。



英語

- ・教科書を何回も声に出して読み、正確に発音できるようにしましょう。
- ・ノートやワークを活用して、単語や基本文の意味や文法を確認しながら、何回も書いて覚えましょう。
- ・基本文や文法を用いて、いろいろな英文を書きましょう。
- ・日本語を英文に、また英文を日本語に直す練習をしましょう。

その他

- ・道徳の資料を読みましょう。また、家族と話し合い自分の考えをまとめましょう。
- ・読書の時間を確保し、知識を広げ、自分の考えを深めましょう。
- ・定期テストや学力テストに向けて、テスト範囲をもとに具体的な計画を立てて取り組みましょう。

長期休業日には

- ・課題や提出物をもとに家庭学習の計画を立て、確実にやり遂げましょう。
- ・苦手教科の克服などの自主的な学習や、長期休業日にしかできない体験などに挑戦しましょう。
- ・部活動のある日とない日の日課表をつくり、日々計画的な学習を進めるとともに、部活動にも積極的に取り組みましょう。



毎日の家庭学習で大事なこと

- 学校からの配布物やプリントを家の人に見せましょう。
- まず宿題をすることが大事です。次に見通しをもって自主学習にも取り組みましょう。
- テレビやスマホなどの「ながら」勉強は止め、集中できるようにしましょう。
- 時間割を合わせ、提出物や持ち物を確認するとともに、夜更かしをせず、睡眠時間をしっかり確保しましょう。



「育ち」や「学び」の特徴

- 自我の確立がみられ、自分の特性を理解できるようになる時期です。
- 将来への夢や希望をもち、進路選択・進路決定をする、まさに人生の節目を迎えます。将来を見据えた目標をもつことが、学習へのやる気につながります。
- 進路に向けて「やらなくては」「頑張らなくては」と分かっていながら、時には、思うように進められない自分に苛立ちを覚えたり、気持ちが不安定になったりすることもあります。家庭での温かい支援や見守りが大切です。
- 学校(先生)などから具体的な進路に関する情報を集め、本人の希望を十分に聞き、より良い進路選択ができるよう、家族でよく話し合しましょう。



家庭学習のポイント



1

進路の目標を決めて、計画的に！

- ☆将来を見据えた進路の目標や選択について、家族とよく話し合しましょう。
- ☆高校のオープンハイスクール、学校説明会や就職説明会などに、積極的に参加しましょう。
- ☆目標に向けて、現在の自分の力をよく考え、努力すべき点を明確にし、具体的な計画を立てて取り組みましょう。

2

生活リズムを整え、時間の使い方の工夫を！

- ☆夜更かしをせず、「早寝早起き」「朝食をとる」を心がけ、自分の力を最大限に伸ばすために、生活リズムを整えましょう。
- ☆インターネットやゲームの時間、スマホなどの使い方のルール等を決め、家庭学習の時間を確保し、継続的な学びを進めましょう。
- ☆部活動引退後、帰宅してから家庭で過ごす時間が長くなります。学習の時間やテレビ等の時間、手伝いなど、上手に時間が使えるように工夫しましょう。

3

3年間の学習のまとめを！

- ☆日々の宿題や課題を確実にやり遂げるとともに、予習・復習を計画的に進めましょう。
- ☆定期テストや学力テストに向け、計画的に学習しましょう。
- ☆部活動引退後、自分で自由にできる時間が増えます。自分に合った学習方法を工夫し、中学3年間のまとめの学習にしっかり取り組みましょう。

学校での学習

- 日々の授業を大切に、基礎・基本を確実に身につけ、思考力や表現力を伸ばすことが重要です。また、生活に関連づけて考えたり、生活に活用したりする力も大切です。
- 3年生の授業の復習に加え、1・2年生の内容を復習する必要があります。
- 行事や生徒会活動・部活動において、中心的な立場です。時間の使い方を工夫し、学習との両立を図りましょう。



家庭学習の方法と工夫

家庭学習のめやす 120分～180分

めあて()分

国語

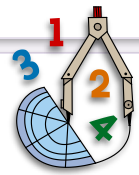
- ・教科書をはっきりと声に出して読みましょう。古典は、本文をノートに書き写したり音読したりしましょう。
- ・漢字や語句は書いて覚え、分からない言葉は辞書を引き、意味を調べましょう。
- ・学習プリントやワーク、資料集で整理し、学習内容を確認しましょう。
- ・小説や物語を読んで、主人公や登場人物の生き方に対する自分の考えをまとめましょう。

社会

- ・教科書や資料集で、重要な語句をチェックしたり、ノートにまとめたりしましょう。
- ・学習プリントやノートを見直すとともに、問題集にも取り組みましょう。
- ・社会の動きに興味をもち、学習したことと関連づけながら、自分でも考える習慣をつけましょう。

数学

- ・解き方や考え方の基本である教科書の例題を理解し、その上で練習問題をしましょう。
- ・授業で使ったプリントやノートで公式や定理を整理し、繰り返し練習しましょう。
- ・ワークや問題集に取り組み、間違えた問題はできるまで練習しましょう。



理科

- ・教科書や実験・観察シート、ノートを見直し、自分の言葉で説明できるよう要点を整理しましょう。
- ・図やグラフの見方、科学的な考えなどに気をつけて、繰り返しワークや問題集に取り組みましょう。
- ・自然や科学に興味をもち、学習したことを関連づけながら、自分でも調べましょう。

英語

- ・ノートやワークを活用して、単語や基本文の意味や文法を確認しながら、何回も書いて覚えましょう。
- ・基本文や文法を用いて、いろいろな英文を書きましょう。
- ・日本語を英文に、また英文を日本語に直す練習をしましょう。
- ・日頃から、英語に触れる機会をもつように心がけましょう。

その他

- ・道徳の資料を読みましょう。また、家族と話し合い自分の考えを深めましょう。
- ・読書の時間を確保し、知識を広げ、自分の考えを深めましょう。
- ・定期テストや学力テストに向けて、テスト範囲をもとに具体的な計画を立てて取り組みましょう。

長期休業日には

【夏休みには】

- ・課題や提出物をもとに家庭学習の計画を立て、確実にやり遂げましょう。
- ・1・2年生、3年生1学期までの総復習や不得意な教科の克服などの学習に取り組むとともに、長期休業日にしかできない体験などに挑戦しましょう。また、部活動引退後は、より一層計画的な学習に取り組みましょう。
- ・高校のオープンハイスクールや説明会に積極的に参加し、自分自身の進路について、しっかり考えましょう。

【冬休みには】

- ・進路希望が明確になるときです。進路を見据えたラストパートが大切です。
- ・受験や面接までの予定を再確認し、進路希望に合った問題集をするなど計画的に学習しましょう。
- ・病気にかからないよう、体調管理に十分気をつけましょう。



毎日の家庭学習で大事なこと

- 学校からの配布物やプリントを家の人に見せましょう。
- まず宿題をやり遂げ、次に見通しをもって自主学習に取り組みましょう。
- テレビやスマホなどの「ながら」勉強は止め、集中できるようにしましょう。
- 時間割を合わせ、提出物や持ち物を確認するとともに、夜更かしをせず、睡眠時間をしっかり確保しましょう。

インターネットをかしこく使おう

学年が進むにつれ、パソコン、タブレット、スマホが必需品のようになってきました。本来、これらのメディアツールは、子どもたちの学習や生活にとっても役に立つものです。しかし、子どもたちの学習や生活を乱す危険も伴っています。

- 好きなサイトを見る
- メールのやりとり
- 動画を見る
- 音楽を聴く
- ゲームをする
- SNSをする
- ・Twitter
- ・LINE
- ・Facebook

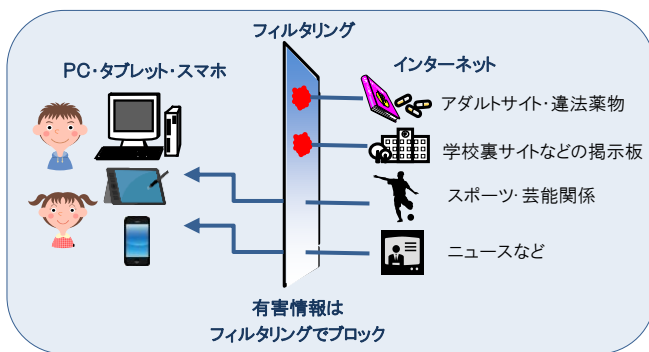
**インターネットで
できること**

インターネットから生まれるいろいろな問題

- ・ネットを使っていじめをする。 ・有害サイトにはいつてしまう。
- ・メールや SNS への依存が強くなる(返事がなくて不安になる、切るタイミングがつけられない)。
- ・不特定多数の人に見られるので、個人情報流れ出す危険性がある。
- ・ウイルスに感染する。

👉 親としては、違法・有害サイトにアクセスできなくしたり、一定額を超えると使用できなくしたりするフィルタリングというサービスやソフトを利用することができます。

👉 一方的にルールを押しつけるのではなく、インターネットを使用する目的をはっきりさせ、学習や生活を豊かに楽しめるように子どもと一緒にルールをつくりましょう。



- ✓ 困ったときはすぐ相談する。
- ✓ 利用する時間帯や時間を決める。
- ✓ 知らない人とやりとりしない。
- ✓ アプリのダウンロードはひとりではない。
- ✓ 名前・顔写真・学校名などは書き込まない。
- ✓ スマホなどの料金明細を親子で確認する。

学習サイトをかしこく使おう

「加西市立総合教育センターホームページ 学習サイト」

様々な学習動画やプリント集があります。家庭学習にお役立てください。



「兵庫県教育委員会 義務教育課チャンネル みて・学ぼう！ひょうごっ子広場 つまずきポイント編」
小学校 6 年生と中学校 3 年生の国語、算数・数学、理科で、多くの児童生徒がよく間違える問題と解説動画があります。

家庭学習で使える学習動画コンテンツサイト 兵庫県教育委員会義務教育課

兵庫県教育委員会や県内の市町教育委員会が作成している学習動画をみることができます。予習や復習など、家で勉強するときに活用してください。



NHK for School (エヌ エイチ ケー フォー スクール)

小学校 1 年生から中学校 3 年生まで、全教科の解説動画や実験動画があります。昆虫から地球の環境問題まで、様々な種類の動画が用意されているのでみてみたい内容が見つかります。

みたいときに、自分のペースで学習することができます。また、分かりにくいところは何度もみることができるので、強い味方になります。そのほかに、学校の勉強を復習する、学校で分かりにくかった内容を学習し直す、学校で次に習う内容を予習する、授業の中で見つけた自分の疑問を解決するなど、様々な活用方法が考えられます。どんどん活用しながら、自分なりの学習方法を見つけましょう。

よりよい生活習慣は高い学力にむすびつく

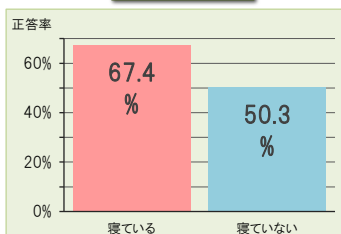
子どもが「学びに向かう力、自ら学ぶ力」を身につけるためには、家庭での生活習慣を整えることが大切であり、学力にも大きく影響するとよく言われます。

本当によりよい生活習慣と学力には、相関関係があるのでしょうか…。令和元年度に、小学6年生と中学3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果から確かめてみました。

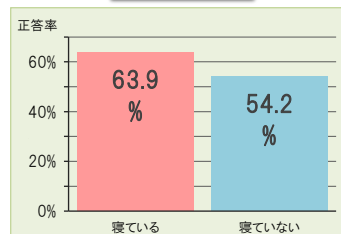
毎日、同じ時刻に寝ていますか？



小学6年生



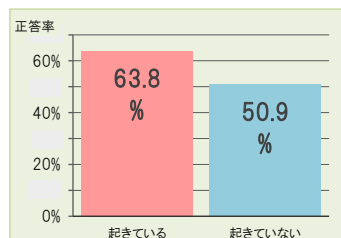
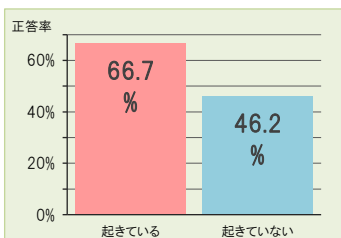
中学3年生



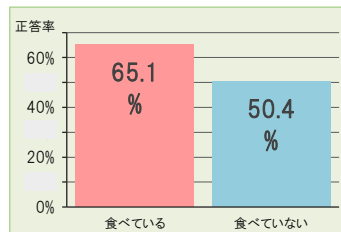
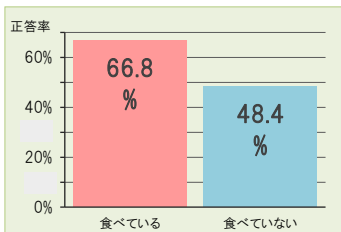
【グラフの見方】

小学6年生でみると、毎日同じ時刻に寝ている人は67.4%の正答率で、同じ時刻に寝ていない人は50.3%の正答率、ということです。正答率とは、問題が100問あれば、同じ時刻に寝ている人は約67問の正答をあげ、寝ていない人は約50問の正答をするということです。

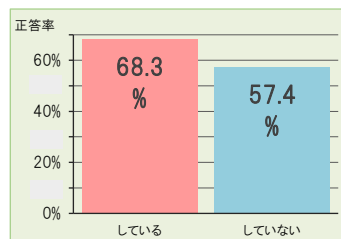
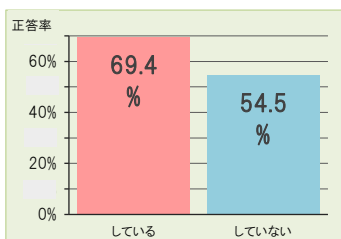
毎日、同じ時刻に起きていますか？



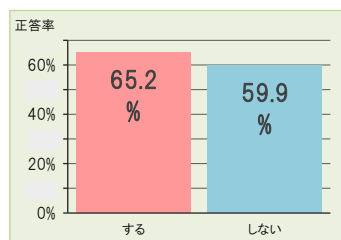
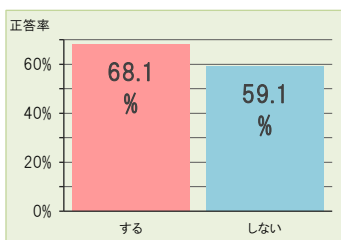
朝食を毎日食べていますか？



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか？



1日当たり30分から1時間読書を読みますか？



よりよい生活習慣を身につけていると、正答率が高い傾向がみられます。特に『早寝早起き朝ご飯』が身につけていると、正答率が高いという傾向がはっきり出ています。

親子でつくろう！

加西っ子の学習習慣 “か・き・く・け・こ”

家庭でも学びの力を！

自分の夢を実現するため、生活習慣“あ・い・う・え・お”と共に、学習習慣“か・き・く・け・こ”を実行し、家庭でもしっかり「学びの力」を身につけましょう！



親子で子どもの「こころ・からだ・まなび」を育もう

1 **か** んがえよう（考えよう）！ 学びの心を大切に

好奇心や興味・関心を持って、「知りたい」「調べたい」「考えたい」という意欲こそが学習のエネルギーになります。それが、「学ぼうとする力」を育てます。

2 **き** ぼう（希望）の未来へ、たね（種）ふくらませ

学習するのは、未来の「なりたい自分」に近づくための方法です。自分らしい人生を実現する「生きる力」を身につけるために、今が学習の種（基礎）を作る大切な時期です。

3 **く** りかえし、少しずつ最後まで

学校の宿題は、必ずきちんと最後までします。予習・復習は、自分のペースで取り組みましょう。家庭学習は、「毎日、少しずつ」の習慣が長く続ける秘訣です。

4 **け** （ゲ）ームやテレビはルールを作り

学校と違い、家庭では自分で学習時間を確保しなければなりません。ゲームやテレビ、インターネットなど自分のしたいことばかりにならないよう工夫しましょう。

5 **こ** まったら、いつでも「S・O・S」！

学習の内容や方法が分からず困った時は、ピンチがチャンス！自分が伸びるときです。先生や家の人、友達など周りの人にも相談して解決しましょう。

親子でつくりよう！ 加西っ子の生活習慣 “あ・い・う・え・お”

私たちのふるさと加西を、元気で住み続けたい市にするためには、子どもたちがたくましくこころ豊かに成長していくことが不可欠です。そのための基盤となるのが、家庭でのよりよい生活習慣です。加西市では、親子で子どもの「こころ・からだ・まなび」を育てていくために、「親子でつくりよう！ 加西っ子の生活習慣 “あ・い・う・え・お”」運動を呼びかけています。

親子で子どもの「こころ・からだ・まなび」を育もう

1 あ かるい あいさつ

「あいさつ」は、人と人、心と心を結び、よりよい人間関係を作ってくれます。生活の様々な場面であいさつの言葉を使ってあたたかな心の通い合いを築きましょう。親から進んで子どもに声をかけ、目を見て心をこめて、自分の気持ちを伝えるようにしましょう。

2 い っしょに 食事

食事は、子どもの心と体を作り、体力や集中力の向上に欠かせません。できるだけ家族がそろって食事を楽しみ、作ってくれた人に感謝し、好き嫌いをしない子どもに育てましょう。食文化への関心、準備や後片付けの協力など、食を通したふれあいを大切にしましょう。

3 う ーんと 睡眠

早寝早起きは、子どもの発育には欠かせない習慣です。1日を元気いっぱい過ごすために十分な睡眠を取るようにしましょう。起きてから自分ですること、寝るまでにしておかないといけないことなどを親子で約束し、規則正しい生活習慣を身につけましょう。

4 え がおで お手伝い

子どもも家族の一員です。子どものやる気を大切にして、小さいうちから、お手伝いを進んでする習慣をつけていきましょう。まずは、「いっしょに手伝ってくれる？」と声をかけ、失敗や時間がかかることには目をつぶり、快くやっている気持ちを尊重しましょう。

5 お やこで 読書

読書は、ものの見方や感じ方・考え方を広げたり深めたりし、豊かな感性や思いやりの心を育てます。子どもが本に親しみ読書習慣をつけるために、読み聞かせをしたり親子で読書をしたりする時間を設けましょう。読んだ本の内容を楽しく親子でお話をしましょう。

家庭生活・学習チェック表

このチェック表を使って日々の生活リズムや学習の仕方について点検しましょう。

点検した結果を振り返り、生活や学習方法を見直しましょう。

生 活 面	1	あさ、きまった時刻に起きていますか。
	2	あいさつ(おはようございます・こんにちは・おやすみなさい)ができていますか。
	3	朝食を毎日食べていますか。
	4	バランスのよい食事(赤・黄・緑)が摂れていますか。
	5	忘れ物がないように持ち物をそろえていますか。
	6	プリント類は家の人に渡していますか。
	7	テレビやゲーム、インターネットなどの決めた時間を守れていますか。
	8	手伝いをしていますか。
	9	学校でのできごとについて家で話をしていますか。
	10	読書をしていますか。
	11	夜、決まった時刻に寝ていますか。
学 習 面	1	学習用具は使いやすいように整理整頓していますか。
	2	テレビやゲーム、インターネットなどを消して勉強していますか。
	3	よい姿勢で勉強していますか。
	4	宿題はしていますか。
	5	文字をていねいに書いていますか。
	6	自分(家の人と)で計画を立て、自主学習ができていますか。
	7	テストで間違えた問題の復習をしていますか。
	8	わからない学習内容については、たずねて解決しようとしていますか。
	9	授業の復習はしていますか。
	10	授業の予習はしていますか。
	11	自分で決めた学習時間のめあては守られていますか。

